

春一番も吹いたのですが

寒暖差が激しいです

これを書いてるのは二月の二十一日です。先週の二月十六日に、九州北部に「春一番」が吹いたと発表されました。

この日24時間の松浦市の平均風速は、主に南南西からの風が秒速2.6メートルほどでした。これだけだと、そう強い風は吹いていないように思えます。しかし、問題は瞬間最大風速です。この日観測された瞬間最大風速は、南からの風で秒速11.8メートルでした。

気象庁で使われている予報用語によりますと、「春一番」は「立春から春分の間に広い範囲で吹く、暖かく(やや)強い南よりの風」とされています。

この日以前は西寄りまたは北寄りの風が吹くことが多かったのですが、まさに本当に「春一番」だったのですね。

とはいえ、まだまだ寒暖差が激しい日はしばらく続きそうです。体調管理など大変ですが、なんとか頑張っていきましょう。

春祭りのご案内

前号でも書きましたが、改めての告知です。来たる三月十三日に、淀姫神社氏子総代会主催の春の大祭「祈年祭」こと「春祭り」が齋行されます。

日時と場所は左記の通りとなっております。

◆淀姫神社祈年祭(春祭り)

日時 三月十三日(月)

午前十一時より

場所 淀姫神社社殿にて

この「祈年祭」はその神社の由緒に基づく「例大祭」や、秋の「新穀感謝祭」と共に「三大祭」といわれる神社の重要なお祭りのひとつです。

春に一年の稲の豊作を祈るこのお祭りは、「としごい」の祭りとも言います。

この「とし」とは、古くは稲などの穀物のことを指す言葉でした。

古語拾遺などによると、大地主神(おおとこぬしのかみ)が御歳神(みとしのかみ)に、穀物の豊作を祈った伝説が語られています。これが「祈年祭」の起源とも伝えられているようですが、定かではありません。

また「御歳神」は「歳徳神さま」のことで、その年の福徳を司る神とされています。お正月にお迎えする「年神さま」とも「お正月さま」とも呼ばれます。

その歳徳神さまにその年の五穀豊穡とともに、皆さま方の健康息災と繁栄を「こい(乞い)願う」のが「としごい」です。

ちなみに小ネタではありますが、うんちくを一つご紹介。

ここ最近「恵方巻き」が節分行事として広まっています。「恵方」とは、この神さまがいらっしゃる方位のことです。

このお祭りは、二月から三月にかけて、伊勢神宮をはじめとした全国津々浦々の神社で齋行されます。

また、宮中の賢所(かしこごころ)でも、天皇陛下による祭りが齋行されます。

当日はどなたでもご参拝・ご観覧いただけますので、皆さまどうぞお気軽にご来社くださいませ。

